

令和3年2月12日

報道機関 各位

文科省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 COC+R」選定事業：
「地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」」
信州・富山・金沢3大学による合同記者会見及びキックオフシンポジウム開催

平素より本学の運営について多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、文部科学省の事業に選定されました「令和2年度 文部科学省 大学教育再生戦略推進費「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業：COC+R 事業」に関する、3大学出席の記者会見とキックオフシンポジウムを開催します。

信州大学（事業責任大学）、富山大学、金沢大学の3大学で実施する「地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」」は、文科省事業への選定から、この期間、令和3年度の事業本格実施に向け、関係機関での教育プログラムや連携体制の構築を行ってまいりました。この度、各県の「まち・ひと・しごと総合戦略」にもとづく地元就職定着率向上などの目標を含む3大学および長野県・富山県・石川県との協定内容がまとまりましたので、ご報告させていただき、合同記者会見を行う運びとなりました。事業の詳細は別紙をご覧ください。（参考：文部科学省 Web サイト「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」の選定結果について」https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/mext_00037.html）

また、同日14時より「令和2年度大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（事業通称名 COC+R）キックオフシンポジウム」をオンラインにて開催します。詳細については別紙チラシを参照ください。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。なお、合同記者会見については原則オンラインにてご取材下さいますようお願いいたします。

記

<合同記者会見>

【日時】 令和3年2月20日（土） 11:00～11:30（予定）

【場所】 ・金沢市文化ホール（金沢市高岡町15-1）
・オンライン共同記者会見場（zoomを使った同時中継オンライン会場を設けます）
※会場での参加の場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、検温、手指消毒等にご協力いただきます。
※オンラインでの参加の場合は、事前にお申し込みをお願いいたします。

【出席予定者】 濱田 州博（信州大学長）
齋藤 滋（富山大学長）
山崎 光悦（金沢大学長）



- 【内 容】
1. はじめに
記者会見趣旨説明
ENGINE プログラムの概要
協定の概要説明
 2. 出席者紹介
 3. 各大学のプログラムの狙いについて 3 大学学長から説明
 4. 記者質問
 5. お知らせ
同日開催の COC+R キックオフシンポジウムについて

【申込等】 google フォームにてお申し込みください。
URL : <https://forms.gle/Kuk6tPw79BtLcAkJA> または QR コードをご活用ください。

※お手数ですが**事前に必ずお申し込み**をお願いいたします。
記者会見場の詳細は、登録いただきましたメールアドレスに
ご連絡させていただきます。



<キックオフシンポジウム>

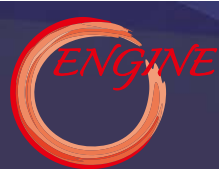
【日 時】 令和3年2月20日(土) 14:00~17:15 (17:15~18:00 オンライン情報交換会)

【場 所】 オンライン開催 ※事前申し込みが必要です。

【プログラム】 別紙チラシ参照

◆本件についての問い合わせ先

富山大学研究振興部社会貢献課 mail: chiiki@adm.u-toyama.ac.jp



文部科学省「大学による地方創生人材育成教育プログラム構築事業」(R2~R6)

地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

事業責任大学：信州大学（幹事校） 参加大学：富山大学、金沢大学

地域の未来社会への対応(現状)

- 人口減の時代
- VUCAの時代
- 知識集約型社会へ
- COVID-19による地域産業の崩壊加速

➡地方創生の骨幹である移動・交流・体験・居住のスタイルが変化している。



地方創生の原動力『ENGINE』を再定義し、地域基幹産業を創新する人の育成が必要



1 データ・オリエンテッド&ハート・ドリブン型地域マネジメント力

2 時代の変化をしなやかに捉え社会に関わり続ける力

3 未来社会を見据えた創造性溢れる突破力

1. 産業集積化の概念の打破

3. 未来社会に向けたリソースの共有

地域産業の創新・再定義
人材の好循環
➡「シン・シャカイ」を築く

3地域・3大学の連繋
による地方創生

2. 多様性を享受し発展する文化・伝統

3大学連携

ENGINE教育プログラム

3つの教育フェーズを用意

- ◆ 3県域横断・乗入型の企業課題解決型PBLインターンシップ
- ◆ 広域型キャリア形成プラットフォームの構築
- ◆ Onlineを活用した学際的なリテラシー教育

地域企業の魅力・ブランド力向上

革新的な取組を行う地域企業に
優秀な人材を輩出し定着を行う

リカレント教育
100年企業創出プログラムと連携

出口企業

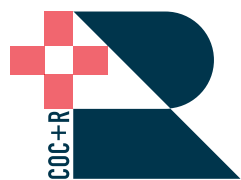
協働して
地域企業課題解決
に取り組む

学生

首都圏人材

地域の「産」と「学」が連携し、持続可能な地域社会形成に向けた、新しい「学びの場」を構築

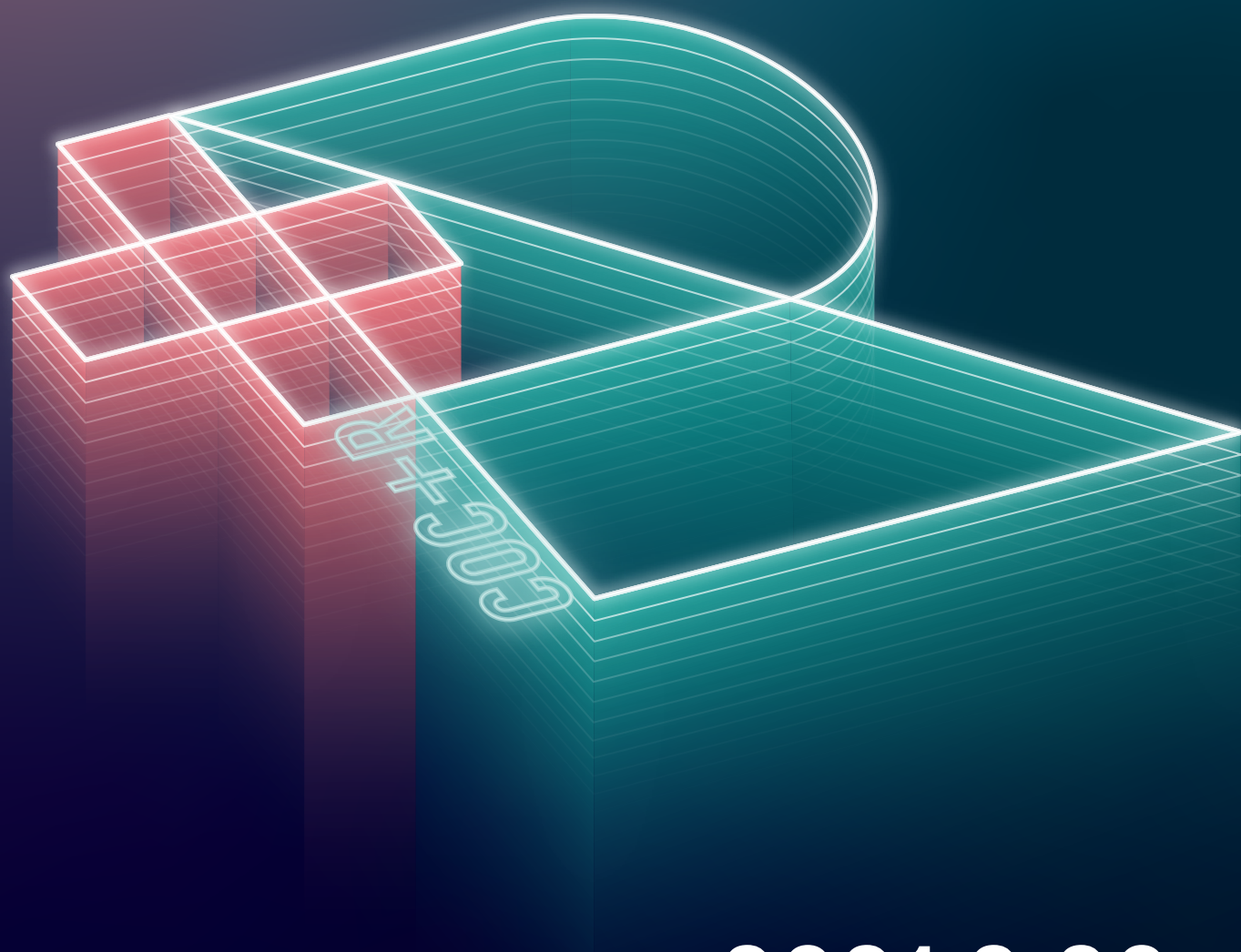
➡産学連携教育2.0



Centers of Community —

Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs

大学による地方創生人材 教育プログラム構築事業 キックオフシンポジウム



2021.2.20 sat

14:00-17:15

オンライン開催

主催

文部科学省「大学における地方創生人材教育プログラム構築事業」
事業責任大学(幹事校): 信州大学

【共催】 事業責任大学: 山梨県立大学、岡山県立大学、徳島大学

Theme

就職から創職へ

令和2年度大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（事業通称名：COC+R）

キックオフシンポジウム

テーマ

就職から創職へ

～地方大学だからこそ挑戦できるこれからの人材育成とは～

令和2年度文部科学省事業「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」のキックオフシンポジウムでは、

テーマを「地方大学だからこそ挑戦できるこれからの人材育成とは」とし、人生100年時代、COVID-19等による社会構造の変化を見据え、魅力ある地域への変革、その持続的な成長に向け、今後さらに重要となる「人材育成」に焦点をあてます。

基調講演では、魅力ある多様な人材育成に向け、地方大学が果たすべき役割と挑戦すべきテーマについて論点の提示を行い、4つのキーノートに対する分科会を開催し、今後の『育成すべき人材像』について様々な視点を提示し、議論を深めます。

日時

2021年2月20日(土) 14時～17時15分

(オンライン情報交換会 17時15分～18時)

会場

オンライン開催

申し込み方法

シンポジウムの参加をご希望の方は会員登録をお願いいたします。

シンポジウムの前日（2月19日）までに登録いただいたメールアドレス宛に、オンラインアクセス方法に関するご案内を差し上げます。会員登録いただくと、事業レポートのダウンロードや、イベント情報などをメールマガジンにて配信いたします。

シンポジウム申し込みは、coc-r.jpのホームページからお願いします。



タイムライン

14:00	開会
14:00～14:05	事業コンセプトPV上映
14:10～14:15	選定4大学の事業説明PV上映
14:15～14:20	開会あいさつ
14:20～14:30	来賓あいさつ 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長 横井 理夫 氏
14:30～15:00	基調講演 『これからの魅力ある地方大学とは?』 小林 浩 氏 リクルート進学総研所長・リクルート「カレッジマネジメント」編集長
15:00～15:15	キーノートスピーチ ① 地域が求めるグローバル人材像とは? ② 企業が求める人材像とは? ③ インターンシップに求められるものとは? ④ 人材育成におけるCOVID19以降の変化とは?
15:15～15:35	(休憩)
15:35～16:45	分科会セッション ① 地域が求めるグローバル人材像とは? 『地域の魅力を世界視点でupdateする』 ② これからの企業が求める人材像とは? 『未来の働き方を創造する 地方×都市圏』 ③ これからのインターンシップに求められるものとは? 『企業と学生の協働から職を創るインターンへ』 ④ COVID19以降に求められる人材育成の変化とは? 『地方だからこそ挑戦出来る、これからの人材育成』
16:50～17:05	ラップアップ(分科会のまとめ報告)
17:05～17:10	総評
17:10～17:15	閉会あいさつ
17:15～18:00	オンライン情報交換会

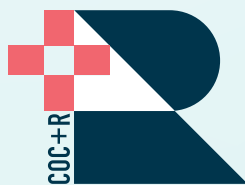
基調講演者紹介 小林 浩(こばやしひろし)氏

1964年生まれ 株式会社リクルート入社後、グループ統括業務を担当、「ケイコとマナブ」企画業務を経て、大学・専門学校の学生募集広報などを担当。経済同友会に出向し、教育政策提言の策定にかかわる。その後、経営企画室、会長秘書、特別顧問政策秘書などを経て2007年より現職。

令和2年9月25日 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議（第2回）」において、有識者として「地方大学への期待」に関する論点提示を行う。

2020年より、文部科学省中央教育審議会大学分科会質保証システム部会委員。

その他、(公財)大学基準協会 広報委員、大学評価委員、(公財)日本高等教育評価機構 広報委員、大学評価判定委員 を務める。



大学における地方創生人材教育プログラム構築事業(事業通称名:COC+R)について

地方創生に向けては、当該地域にある高等教育機関が核となって、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠です。人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められています。本事業は大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための指標と教育カリキュラムを構築し、指標に基づき、出口(就職先)が一体となった教育プログラムを実施いたします。

主催

文部科学省「大学における地方創生人材教育プログラム構築事業」

事業責任大学(幹事校):信州大学

【共催】事業責任大学:山梨県立大学、岡山県立大学、徳島大学

問い合わせ (幹事校事務局)

信州大学 キャリア教育・サポートセンター

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

✉ info@coc-r.jp WEB https://coc-r.jp/